



扉 ちっぽけな心

サトータツオ 1



まなぶということ

鈴木孝雄 2



人類の大きな夢だということけれど 木村 和 4



特集

平和って、どんなこと

ナガサキから平和な世界の建設を訴える 小宮伸二 6

平和について学ぶこと伝えること 下地史彦 10

「脅威」をもてあそぶ戦争政策を見抜く 谷山博史 13

黙っているのは差別を温存するだけ 石橋 学 16

強化化する違憲の自衛隊 大槻重信 19

戦争のできる国づくりの最終段階 海渡雄一 22

自分自身の言葉で語ろう 斉藤小百合 25

日本のうしろ 世界のうしろ

女性支援新法が成立 山田(樋浦)敬子

アマゾンで労働組合が結成されました 関口達矢 28

北欧2カ国とトルコの思惑 高橋和夫

職場の法律相談 職場の女性からセクハラと言われています 河邊優子 53

憲法 8 民主主義活性化への道のり 北川鑑一 56

経済講座 2 下請企業の収益と賃金 熊谷重勝 60

◆ キャラバンサライ	◆ スポーツ時評	◆ 数字を疑え	◆ 中国観看	◆ たちみ席	◆ 働く現場
48	46	44	42	40	38
49	47	44	42	40	38
◆ 質問箱	◆ 情報BOX	◆ 北から南から	◆ センターとみなさんをつなぐ		
50	51	64	65	68	

カットII 野崎安希子

まなぶということ

憲法改悪とたたかう

鈴木 孝雄

第26回参議院選挙は、改憲勢力が3分の2以上を占める結果となった。

2016年、2019年の参院選では、32の1人区で野党の一本化が実現し、2016年は11、2019年は10選挙区で野党が勝利した。今年の参院選では11選挙区で統一し3選挙区でしか勝利できなかった。共闘しなければ野党は勝つことができない。

その結果どうなるか。新自由主義的な政策はさらに進められ、非正規労働者はさらに増え、格差は拡大し、社会はさらに不安定になり、危機を煽られ軍事費は拡大する。その最たるものは憲法改悪である。憲法はその国の基本構造を決めている。だから憲法が変わることはこの国の姿が変わる。

憲法9条に「自衛隊」を書き込むとどうなるか？ 単に自衛隊が合憲の存在に代わる、というものではない。戦争にならなければただの鉄くずとなる

武器に莫大な予算がすぎ込まれる。憲法上、記載された自衛隊に協力を求めることは可能となり、防衛費の増額は容認される。GDP1%以内、としてきた歯止めが2%となれば、現状5兆4千億円が2倍の11兆円にもなる。これはGDPに対する比率であるから、国家予算に占める割合は、10%にも及ぶ。国債償還が約20%も占める中で、国家財政の破たんもあり得る。

だから自衛隊を憲法に書き込むことは、「贅沢は敵だ」「貧乏人は麦を食え」「欲しがりません、勝つまでは」「そして「人を殺し、殺される」ことを容認する時代を招来する。だから憲法改悪阻止のたたかいは、賃金引き下げ反対、医療、年金、福祉、教育に予算を使え、人間らしく生きさせろ！ というたたかいとなる。

国会での議席数は、確定している。とするなら院内の闘いだけでは限界があり、残された道は国会外でのたたかいである。野党共闘を地域から支え、院外の大衆的なたたかいこそが憲法と人権を守る。
(労働大学まなぶ友の会全国連絡会会長)